

平成19年度3年生へ（来年度の卒業論文作成者へ）

平成20年度「地理学演習」・「卒業論文」の担当教員について ——他専攻の教員の指導を希望する場合の注意——

4年次で履修する「地理学演習」・「卒業論文」の担当教員は、10月の教員との面談、「希望教員願」の提出を経て、11月に決定します（詳細は9月にお知らせします）。

地理学演習・卒業論文の担当教員は、原則として、自分が所属する専攻の先生（つまり、地域文化専攻の学生は地域文化所属の先生、地域環境所属の学生は地域環境専攻所属の先生）から選びますが、次の条件を満たした場合、例外として他専攻の先生から指導を受けることができます。

条件① 指導を希望する先生が担当する専門科目を履修している（した）こと。
条件② その指導を希望する先生と夏休み前に連絡を取って面談を受け、課題を提出した上で、内諾をとること。
なお、面談は、必ず夏休み前に個別に受けること。その際に課題の指示を受けて下さい。さらに夏休み後に課題を提出し、再度面談を受けた上で、希望する指導の先生に指導を受ける内諾を受けておくこと。課題の内容などは、指導を希望する先生との面談の際の指示に従って下さい。

また、希望者数などとの関連で、必ずしも希望に沿えない可能性があります。

なお、平成20年度の地理学演習・卒業論文の担当教員は、以下の予定です。

[地域文化研究専攻]

小田匡保 櫻井明久 佐藤哲夫 須山 聡 土谷敏治 橋詰直道

[地域環境研究専攻]

江口 卓 高木正博 田中 靖 長沼信夫 早船元峰 平井幸弘

以上